

労働市場の概要（平成21年7月）

岡山労働局 職業安定課
TEL 086-801-5103

雇用情勢

7月の有効求人倍率（季節調整値）は0.55倍となり、前月より0.01ポイント低下（原数値比較では前月と同率）した。

これを求人・求職の内訳でみると、前月と比較して、有効求人数（季節調整値）が2.1%減少し、有効求職者数（季節調整値）は0.2%増加した。

7月の新規求人は、主な産業では、建設業（55.6%減）、製造業（59.7%減）、運輸業・郵便業（56.6%減）、卸売・小売業（34.0%減）、飲食店・宿泊業（5.5%減）、医療・福祉（13.6%減）、サービス業（他に分類されないもの）（27.5%減）と減少し、全体では対前年比32.5%減と21ヶ月連続で減少した。

有効求人倍率（季節調整値）は、低下幅が縮小してはいるものの、13ヶ月連続で前月を下回り、雇用情勢は依然厳しい状況が引き続いている。

1 有効求人倍率（季節調整値）

7月の有効求人倍率は0.55倍となり、前月より0.01ポイント低下した。

[直近の0.5倍台 0.55倍（昭和38年2月）]

(1) 有効求人（パートを含む）

- 7月の有効求人は23,640人で、対前年同月比（原数値比較）で37.4%減少し、対前月比（季節調整値比較）でも2.1%減少した。
- 対前年同月比（原数値比較）で21ヶ月連続して減少した。

(2) 有効求職（パートを含む）

- 7月の有効求職は45,367人で、対前年同月比（原数値比較）で38.8%増加し、対前月比（季節調整値比較）でも0.2%増加した。
- 対前年同月比（原数値比較）で、11ヶ月連続で増加した。

(3) 7月の正社員の有効求人倍率は0.31倍（原数値）となった。

2 新規求人倍率（季節調整値）

7月の新規求人倍率は0.94倍となり、前月より0.16ポイント低下した。

(1) 新規求人（パートを含む）

- 7月の新規求人は9,865人で、対前年同月比（原数値比較）で32.5%減少し、対前月比（季節調整値比較）でも13.9%減少した。
- 対前年同月比（原数値比較）では21ヶ月連続して減少した。
- 産業別新規求人状況は、

▲建設業	対前年同月比	55.6%の減少
▲製造業	対前年同月比	59.7%の減少
▲運輸業・郵便業	対前年同月比	56.6%の減少
▲卸売・小売業	対前年同月比	34.0%の減少
▲飲食・宿泊業	対前年同月比	5.5%の減少
▲医療・福祉	対前年同月比	13.6%の減少
▲サービス業	対前年同月比	27.5%の減少
公務・その他	対前年同月比	137.4%の増加

(2) 新規求職（パートを含む）

- 7月の新規求職は9,620人で、対前年同月比（原数値比較）で17.3%増加し、対前月比（季節調整値比較）では±0.0%となった。
- 対前年同月比（原数値比較）は11ヶ月連続で増加した。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は517,850人で、対前年同月比1.6%の減少となり、7ヶ月連続で減少した。

また、受給者実人員（基本分）は、16,134人で対前年同月比では68.1%増加した。

受給率は3.0%で前月より0.1ポイント低下した。

